

美術☆夏休みの課題「美術館へ行こう！」

美術館や美術展に出かけ芸術を鑑賞し、印象に残った作品の感想をまとめて、9月3日(月)に提出。

※9月3日はクラスごとにまとめて美術室前のBOXに提出してください。

★鹿児島市立美術館「ミュシャ展～運命の女たち～」→入場受付で学校名を伝えると入場料が200円で鑑賞できます。通常、中学生の入場料は600円です。

※上記以外の美術館・美術展でもかまいません。

☆学芸員によるギャラリートーク：7/28,8/11,8/25(土) 14:00～15:00

☆記念ワークショップ 8月5日(日) 10:00～16:00「はじめてのリトグラフ」

☆夏休みワークショップ8月19日(日) 10:00～11:30または13:30～15:00

「(仮) 花の妖精のすみかをつくろう!～ミュシャ風塗り絵とオブジェ～」

※各ワークショップは、事前の申込み及び材料費が必要です。興味と日程があったら参加してみましょう。

詳しくは美術館ホームページで確認してください。

氏名	2年組番	行った日	8月30日(木)
		美術館・美術展名	市立美術館 ミュシャ展

作品名	芸術：詩	作者名	リトグラフ
感じたこと			
紙の色が今の時代のように白ではなくて、おど ^ロ 色でした。なのにも関わらず、女の人の髪の毛の色、肌の色、目など忠実に表現していたニヒにおどろきました。思わず口をおさえてしまうくらいでした。			
なぜ題名が「芸術：詩」なのか分からないので調べてみました。			

作品名	「スラヴ叙事詩の制作中のミュシャ」	作者名	ズビロフ(写真)
感じたこと			
ミュシャ1人で大きな花を2つ作成しているニヒが一番おどろきました。			
他の絵をみてもほどほどリアルで圧倒されました。			
ミュシャのニヒをもっともっと知りたいと思える絵でした。			
下の絵ではちがう角度でミュシャが笑っていました。			

作品名	サン・マヌのロワ＝河畔の風景	作者名	アルマント・ミスレー(1839-1899)
感じたこと			
全て点描技法で知っています。私もよく作品に点描を用いるのですが、使った時のよさがイマイチわかりませんでした。この絵をみていると、点描を使ったニヒによって優しげやかわらさが表れていて私の中ではヒットした絵です。これから点描を使用する時は今日知ったニヒをふまえて、気を付けて使っていきたいです。			

※鑑賞レポートは、2学期の評価材料となります。